

中学校区におけるめざす子ども像 夢をもち続ける子ども 人を思いやる子 学び続ける子					堺市立 白鷺小 学校
					校長 福山 和久

令和7年度 重点目標 「子どもの可能性を伸ばす教育の充実」 ・個別最適な学び・・・ICTの活用や専門家との連携により、個に応じたきめ細かな指導の実践に取り組む。 ・個性や多様性の理解・・・一人ひとりに居場所があり、多様性を認め合える集団づくりに取り組む。 ・家庭や地域等との連携・・・保護者や地域の方々、関係機関と連携し、子どもの夢をはぐくむ教育に取り組む。
--

確かな学びの現状 ・学びのコンパスやユニバーサルデザインを意識した白鷺スタンダードによる授業づくりに取り組む。 ・学習意欲を高め、学びを深めることを意識し、教育ICT機器(タブレット端末や大型テレビ等)を効果的に活用する工夫がみられる。 ・「好きな授業がある」「学習に集中している」児童の割合は高い。(市学習・生活状況調査) ・論理的な思考力・表現力の育成のために、国語科を中心に学んだ力を他教科において汎用することができる活用力を身につけさせたい。 ・授業における問題解決や交流場面の設定により、自己肯定感や豊かな人間関係を築く力が培われている。一方で、個人で課題を設定し、計画を立て解決していくことには十分につながっていない。 ・児童が自主的に学習に取り組めるよう「学びのコンパス」「steam」教育を積極的に取り入れていきたい。	豊かな心・健やかな体の現状 ・朝食、学習準備などの基本的な生活習慣が身についている児童は多い。(市学習・生活状況調査) ・「将来の夢や目標をもっている」「決めた目標に向かって努力する」児童の割合は高い。(市学習・生活状況調査) ・「周りにこまっている人がいる時、自分にできることはないかを考えている」と思う児童の割合は高い。(市学習・生活状況調査) ・進んで行動をする児童が多い。(学校教育アンケート) ・自分があいさつをしていると答えている児童の割合は高い。(市学習・生活状況調査) ・外で体を動かすことは好きである児童は、総体的に多い。(市学習・生活状況調査) ・長距離走や縄跳びなどの取組により個々の体力の増進を図っている。 ・体育大会などを通じて体育学習の成果を発揮する機会や各学年の演技を通じて学年間の交流の場を作ることができた。
---	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～〇月)	達成状況(年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	総合的な学力の育成	総合的な学力を向上させるため、基礎・基本、考える力を身につける	●自らの学習方法を獲得する児童を育てるために、課題設定・情報収集・整理分析・まとめ表現の探究のサイクルから1つを個人研究テーマに設定する。また、研究授業や校内研修の場を通して、探究のサイクル全体を把握し、「各教科の見方・考え方」と「学びのコンパス」の考え方を授業に取り入れていく。	・研究授業討議会などの校内研修や年度末の総括において判断する。	・自己評価 ・学校教育アンケート ・授業参観アンケート ・市学習・生活状況調査 ・すくすくウォッチ等の調査	10月1月 随時					
			●各教科の基礎・基本の定着や幅広い知識の獲得に向けて、始業前の時間を活用した朝学習や読書活動に継続して取り組む。また、国語科で学んだことを他の教科等で活用することを通じて、汎用性のある言語能力の育成に取り組む。	・すくすくウォッチ、全国学力・学習状況調査の基礎問題の理解度や校内テストで判断する。		10月1月 随時					
	学習方法の工夫	意欲的に学びに向かう子どもを育てる	★個に応じた学びや協働的な学びに適した学習環境のなかで学び続けるため、問題意識が高まる導入や単元構成を工夫したりする。	・研究授業討議会などの校内研修や年度末の総括において判断する。		10月1月 随時					
			●1人1台のタブレット端末などICT機器を効果的に活用し、必要な情報を主体的に収集・整理・分析等を行い、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる情報活用能力の育成に取り組む。	・学校教育アンケートにおける教育ICT機器(タブレットや大型テレビ等)に関する設問について肯定的評価90%以上		10月1月 随時					
豊かな心・健やかな体	心の教育	豊かな心をもち、自尊感情を高め自信をもてる子どもを育てる	●個々の思いや願いに沿った実践を推進し、その過程を支え、自己肯定感、達成感を感じれるようにしたり、物事に最後まで粘り強く取り組む態度を育てる。	・年度末総括で成果を判断する。 ・児童アンケート「自分のいい所に気づき、いろいろなことに挑戦し、自信がもてるようになっている」肯定的評価90%以上	・自己評価 ・学校教育アンケート ・授業参観アンケート ・市学習・生活状況調査 ・すくすくウォッチ等の調査	10月1月 随時					
			●多様性を認め、思いやりのある児童を育てるため、人権教育・道徳教育・特別支援教育の充実を図る。 ★一人ひとりの能力や特性を理解し、違いを認め合い、自ら考え判断し進んで行動する態度を育てる。	・年度末総括で成果を判断する。 ・児童アンケート「すすんであいさつ」「すすんで行動」肯定的評価90%以上。		10月1月 随時					
			●個々の思いや願いに沿った実践を推進し、その過程を支え、自己肯定感、達成感を感じれるようにしたり、物事に最後まで粘り強く取り組む態度を育てる。	・年度末総括で成果を判断する。 ・児童アンケート「自分のいい所に気づき、いろいろなことに挑戦し、自信がもてるようになっている」肯定的評価90%以上		10月1月 随時					
			●多様性を認め、思いやりのある児童を育てるため、人権教育・道徳教育・特別支援教育の充実を図る。 ★一人ひとりの能力や特性を理解し、違いを認め合い、自ら考え判断し進んで行動する態度を育てる。	・年度末総括で成果を判断する。 ・児童アンケート「すすんであいさつ」「すすんで行動」肯定的評価90%以上。		10月1月 随時					
連携	地域保護者連携	地域協働型教育を推進する	●本校児童の健全な育成にむけて、地域やPTAとの連携を進め、地域協働や教育支援の充実を図る。	・年度末総括において成果を判断する。	自己評価 学校教育アンケート 市学習・生活状況調査	10月1月 随時					
			●校報や学校HP等で学校の様子を積極的に発信し、学校・家庭・地域が連携して児童の健全な育成に努める。	・学校教育アンケート結果で判断する。		10月1月 随時					

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------